

駒場松桜会会報

第118号

2026年9月1日発行

一般財団法人
駒場松桜会
都立駒場高校同窓会
〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内

TEL/FAX

03-3466-7579
(毎月曜日(祝日の場合は火曜日)の10:30~16:30のみ対応)

携帯電話から住所変更ができます。



住所変更専用
QRコード

仲間が見守ってくれるから

おくぼ きよみ
奥窪 聖美 (駒29)

長年取り組んでこられた漆芸の世界と
高校時代の思い出が織り交ぜられた
楽しいご寄稿文をいただきました。



「大空高く 富士が嶺白く
若草萌ゆる駒場の丘に……」こ
の先を自然と口ずさむ同輩も多
くおられることだろう。この校
歌を慶事の際に友人挨拶として
合唱をする仲間がいる。ドラマ
チックに歌い上げ、最後の「光
よ誠よ 我等が望みを」で宴

の主役を手振りをつけて寿ぐのだ。持ち芸ではない、「駒場愛」だ。高校の同級生とは、半世紀の付き合いになった。身内の不幸を哀しみ、健康を案じる。近況を語り酒杯を重ね、時には担任の斎藤いづみ先生を囲む食事会になる。私は大学で漆芸を学び、現在も制作を続けているが、作品を生み出した以上は多くの方に見てほしいと願う。出品する漆芸展を駒場の仲間たちが見守り続けてくれている。中には一度も同じクラスになったことがないなどと言っては笑い合う友人もいる。

高校時代は体育祭や水泳大会、百人一首大会、文化祭を大いに楽しんだ。大イベントの後には渋谷へ繰り出しレモンスカッシュやお好み焼きで打ち上がり、授業の間の休み時間はトラップの「大貧民」に燃えた。自由な校風だと他校をうらやましがらせていたが、実は、我校は進学校だった。私は周囲が受験態勢に入ったのに呑気のままだった。美術全般を教える小学校の専科の先生に憧れて美術を専攻すると決めていたがジャンルを決めてはいなかった。美大受験にはジャンルを決めて予備校でデッサンや立体平面構成など

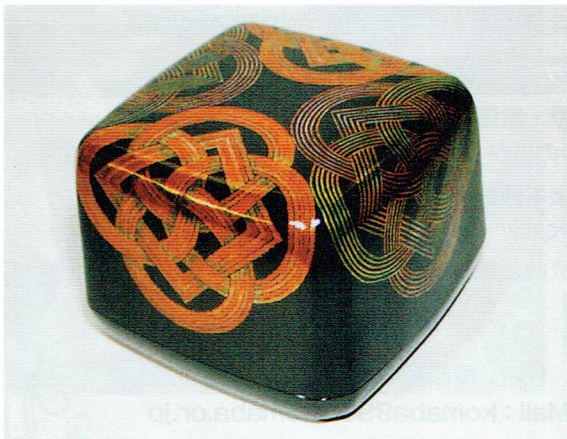
合格用のある種訓練的な準備が必要だったことに気づいたのは後になってからだ。デッサンの数をこなすべきなのに、クラブ活動は美術部ではなく、第三高女を愚ぼせる箏曲部に入って、仰光寮にいた。私の時代はまだ共通テストは存在せず、各大学独自の出題だったから、芸大の過去問をやればよいのだと思ってしまうていた。政権の変動よりは観阿弥世阿弥の花伝書をやっておこうという具合。入試が始まると、自宅学習期間となり登校せぬまま芸大の試験日を迎えた。桜散るのは当然だが、自宅学習の間に当時大流行の急性出血性結膜炎に罹り、霞んだ目のまま受験。不足を上書きする言い訳ができてしまった。

浪人生活に入り単願は許されないと、文学部の美術に対応する受験勉強をすることになった。高校授業の復習をし、ラジオ講座も聞き、問題集も買いこんだ。幸い次の春は芸大に入れたが、総合大学向けの受験勉強で得た知識は後々、漆芸家人生で役に立って行く。

乾燥に湿度が必要な塗料で、肌にかぶれを起こすなど扱いが厄介。一方、強い接着力を使った様々な装飾方法が生み出されてきた。まず教わる必要になる。明治の漆芸の特別展で感動、漆芸技術への知りが強くなって、とうとう私のやりたいジャンルが定まった。3年の実技選択で漆芸科に受け入れてもらい、大学院へ進んだ。作家を育てる学校だから、当然のように作品を作ることに専念した。



乾漆縁赤組小鉢「ひなげし」



乾漆蒔絵箱「わ」

高校卒業時、クラスの女子は4人が浪人を決め、男子は4人以外が浪人となり、私と大学の学年が同じになった男子達の中からもコンパ仲間ができた。高3で選択科目の違いで一緒に授業する機会が少なかった私たちを繋いでくれたのは文化祭だ。劇上演と喫茶室運営の担当を決めてクラス全体でやり遂げた。今でも文化祭の思い出は盛り上がる。

大学院修了後は美術館所蔵品などの古文化財の漆芸品を修理する仕事につき、並行して公募展への制作活動を始めた。主催団体のカラーと自作が噛み合わず悩む事も多かったが、初個展を開いて制約のない作品発表の楽しさを知った。漆芸家として1998年に五島記念文化賞を受賞し、1年間の海外研修と帰国後の成果発表展を五島財団(現東急財団)の助成で行える

探り出せたなら、自分の制作はより多くの共感を得られるのではないかと考えたからだ。携帯電話を気軽に持てる時代ではなく、スケジュールは現地で閲覧をファックスして次の訪問地を決めていた。公衆電話で日本へコレクトコールをして生存を告げたり、絵葉書を出して旅程の痕跡を残した。撮影後のフィルムは直ちにプリント店に持ち込み日本へ郵送した。我身と荷物の万が一に備えて。漆芸科学生だった頃は出番がなかった、受験勉強の世界史、地理、英語がこの研修で大活躍となった。



縄胎「KAORU」

ことになった。研修を在外日本漆器の調査に定め、ヨーロッパと北米の15カ国を訪問した。在外の日本漆器を見ることで西欧人と日本人の美意識の共通性を

奥窪 聖美氏 プロフィール

- 1984年 東京藝術大学大学院工芸漆芸専攻修了
- 1993年 文化庁指定文化財修理技術者講習修了
- 1998年 第9回五島記念文化賞受賞
- 1999年 東急財団助成海外研修(欧米1年)
- 2003年 文化庁芸術家在外派遣(英国1年)
- 2010年 東京藝術大学非常勤講師(～'26年3月)

現在 公益社団法人日本工芸会正会員、文化財修理士、日本文化財漆協会常任理事、鎌倉市文化財専門委員

個展: グループ展: Bunkamura Gallery, 京王プラザホテル、日本橋三越、Gallery Tanaka、世田谷美術館、安江金箔工芸館、飛鳥II、伊丹工芸ギャラリー、東京藝術大学、中村美術館、パナソニック汐留ミュージアムなど

収蔵: 英国V&A美術館、中国拓福美術館、紀文コレクション、浦添美術館、安江金箔工芸館、磐田香りの博物館 など

私は所謂常勤の仕事をした事がない。漆工修理も契約、大学講師の仕事も年ごとの契約更新。翌年のことは見通せない不安な生活で、収入のほとんどは次の作品の材料費や経費で使ってしまう。そんな私だから、海外研修がし易かった。帰国記念展後は研修で掴んだ在外漆器の傾向をもっと掘り下げてみたいと思うようになり2003年から1年、文化庁の芸術家在外派遣員としてロンドンV&A美術館に受け入れてもらった。英国内の城や邸宅の日本漆芸を訪ね歩き17世紀に高価だった輸入漆器を西欧で模造したジャパニングの技術も体験した。西洋で漆芸技

術が憧れをもつて高評価されていることは日本漆芸に携わる者として誇らしかった。この頃には私も電子の人となり、英国へはPCを持参し現地の携帯電話を買い、安否確認は容易になった。今や海外とのやり取りはネット回線だし、各大学は学生の留学の支援に積極的だ。私の海外研修の苦労話など参考にもならないだろう。陶磁器を漆で修繕する金継ぎが海外で人気となり、私も英国、中国、台湾などで授業をする機会が出来たが、これは漆芸の評価とは別の話だ。麻布を貼り重ねて胎を作る乾漆に、蒔絵・螺鈿・玳瑁で加飾する私の作品は果たして海外との共通の美意識を得ることが出来たのだろうか。そうだ、見守り続けてくれている仲間についてみることにしよう。

2026年度松桜会コンサート

「4人の声楽家による重唱演奏会」

日時: 2026年11月28日(土)

開演14時(開場13時30分)

場所: 東京オペラシティリサイタルホール

入場料: 3,000円(高校生以下1,000円) 全席自由

阿部 純プロフィール

東京藝術大学卒業。指揮法を田中信昭、北川剛、声楽を柴田睦陸、原田茂生、E.マイエロンの各氏に師事。海外においては、1996年にフライブルグのミュンスター(南ドイツの第一の教会)にて、東洋人として初めてのミサを演奏した。音楽に対する深い解釈と、卓越した指導力は海外でも高く評価されている。

各地の数多くの合唱団の指揮者として指導にあたっている。

元東京音楽大学准教授、東京藝術大学講師。

出演: 阿部 純(駒21)
(テノール)

ゲスト: 阿部ゆう子(ソプラノ)

渡部菜津美(アルト)

水野賢司(バリトン)

兵頭彩子(ピアノ)(都立芸術高校40期)



プログラム

日本の唱歌・童謡の四重唱

「いつの日か」源田俊一郎編曲

各歌手による独唱及び重唱

シューベルト・シューマン・ブラームス等の

ドイツ歌曲及び日本歌曲

お申し込みは松桜会事務局に、はがき、Faxまたはメールで氏名、卒回、住所、電話番号、参加人数を明記の上、11月6日(金) 必着でお願いいたします。Fax: 03-3466-7579 / Mail: komaba999@komaba.or.jp

母校生徒の活躍
(6月現在)

- 男子バスケットボール部
・東京都高校総体兼全国大会予選ベスト16
・東京都高校春季大会兼関東大会予選ベスト32

●女子バスケットボール部
・東京都高校春季大会兼関東大会予選第8位
(関東大会出場)

●女子バレーボール部
・公立高校女子バレーボール大会 優勝
・東京都高校春季大会兼関東大会予選ベスト16
・全国高校総体東京都予選ベスト16

●ソフトテニス部
・関東大会団体東京都予選 女子ベスト16
・男子硬式テニス部
・東京都高校選手権大会 シングルスベスト16
団体の部ベスト16

●剣道部
・東京都高校春季大会 男子団体ベスト32
・全国高校総体東京都予選 男子団体ベスト32

●柔道部
・東京都国公立大会 男子団体優勝
男子個人60kg級優勝
66kg級優勝
女子個人73kg級優勝
81kg級優勝
女子個人52kg級優勝
52kg超級優勝
・全国高校総体東京都予選 男子団体ベスト8
女子団体ベスト8
男子個人60kg級ベスト16
66kg級ベスト8
女子個人48kg級ベスト16
男子団体ベスト32
女子団体ベスト16

●体操競技部
・関東選手権大会東京都予選 男子団体第3位
女子団体第2位
(関東大会出場)

・関東選手権大会
男子団体第14位
女子団体第12位

・東京都高校総体兼全国大会予選
女子団体第3位

●陸上競技部
・東京都高校選手権大会
男子
やり投げ第2位 円盤投げ第6位
8種競技第6位 第7位
女子
棒高跳第1位 三段跳第2位
走高跳第3位 4×100mリレー第4位
7種競技第7位

・全国高校選手権大会南関東地区予選
男子
やり投げ第2位 円盤投げ第8位
走高跳第2位 4×100mリレー第8位
女子
三段跳第9位 棒高跳第10位

●KMC
・JYOTIROCK U22 CHAMPIONSHIP
2026年 春大会 UNDER DOPE 優秀賞

●百人一首部
・全国選手権大会東京都予選 優勝

●演劇部
・関東高校演劇研究大会 優良賞

これからも母校生徒の応援を
よろしくお願いします！

海外短期語学留学 報告文

私は今回のオーストラリアへのホームステイを通して大きく異なる文化や生活様式、関わったことのない人や初めての環境を経験できたことで、たくさんすることを学び、大切なことに気づくことができました。またその過程で自信がついたり、自分でも知らない自分の一面を見つめることができました。

2年2ホーム滝澤 ひなの
理解できる回数が増えていくのを感じ、自信がついたし英語がもつと好きになりました。それは、コミュニケーションをたくさんとってくれたり、私たちの話を聞いて理解しようとしてくれたり、「もつと自分に誇りを持つていいんだよ」というホストファミリーの支えがあったからこそだと思います。

私は今回の語学研修で少しでも勇氣を出して「違う環境」に足を踏み入れることが大切だと思えました。何もしなかったら何も始まらないし、何か大切なことを見逃してしまうかもしれません。これからは英語などの親しみのないものに挑戦したり、違う視点から物事を見ていこうと思えました。

からこそだと思います。

現地の人々は予想外にもみんなとても優しく、ウエルカムだったためか、準備してきた英語だけでなく、思いついたことや、その場で感じた気持ちを自分の言葉で伝えてみることにへの抵抗がなく、英語を使うことを挑戦と捉えるよりもっと普通のことだと捉えられるようになる、先生がよく言う「失敗を恐

松桜会事務局からのお知らせとお願い

年会費納入のお願い

松桜会の活動は皆さまからの
会費で運営されています。
皆さまには年会費納入にご協
力をお願いいたします。

松桜会年会費免除のお知らせ

松松会年会費は本年度中に80歳を迎える学年から免除となります。(今年度は駒17回から上の学年が対象です。)

ご寄付のお願い

松桜会では10千円からのご寄付を受け付けています。皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

住所変更届のお願い

転居の際には新住所のご連絡をお願いいたします。

届け出の方法

本紙1頁にあるQRコード、またはホームページから手続きできます。



校長室にて助成金贈呈

馬渕伸子理事長からのご挨拶

7月28日の令和8年熊本地震」で犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表します。また被災され過酷な状況におられる皆様が一日も早く穏やかな生活を取り戻されますよう心から祈念いたしております。

松桜会では猛暑を避けて5月6月中に上期の行事（松桜会講座・同窓の集いなど）を催行いたし無事に好評のうちに終えることが出来ました。

講座「路地めぐり」赤羽駅からの散策では整備された荒川の景を楽しむ大切な治水についても学べ良い機会となりました。

「同窓の集い」では駒2回生から78回生まで121名の会員が会し、美味しい料理と談笑で楽しい集いになりました。特に際立ったのは半数以上を占めた78回生のご参加で、会場が一層明るく華やいだ雰囲気にあふれていました。お声掛けされたのでしょうか。皆様の連帯力は、駒場ファミリーにとりまして今後

・ 関東高校演劇研究大会 優
これからも母校生徒の応援を

よろしく願いいたします！

お願い

松桜会では会報の企画・編集や封入作業、松桜会講座やコンサートの企画・運営など、松桜会活動をスタッフとしてお手伝い下さる方を探しています。

局までお問合せください

事務局は毎週月曜日（祝日の場合は翌日の火曜日）の10時半から16時半まで業務を行っています。

令和8年度
駒場松桜会

第15回「同窓の集い」開催！

6月13日(土)、昨年と同様に四ツ谷駅前の主婦会館にて開催しました。

井上校長先生方は、高校行事のためご欠席でしたが、小澤前校長先生・小杉前経営企画室長にもご出席いただき、駒2から駒44の参加者54名に加え今春卒業の駒78から67名もの参加があり、総勢121名！まさに老若男女が集う、若やぎ華やかな楽しい会になりました。



全員集合！



… 懇談のひととき …





(左から) 小杉前経営企画室長・小澤前校長先生・馬淵理事長
山根監事



司会 矢部一氏(駒21)

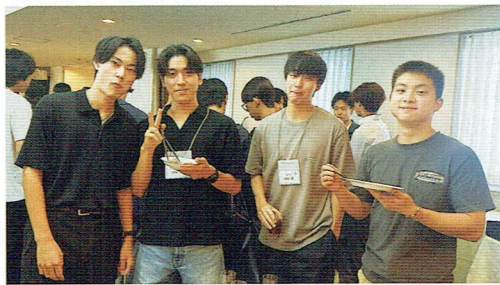


乾杯! 平島満氏(駒12)



馬淵理事長 挨拶

\\ 新入会員の皆さん、これからもよろしくお願いいたします! //



受付



お料理



会場の様子

来年は
6月12日(土)に
開催の予定です。

◇ お集まりくださった皆さま、会の運営にご協力くださった皆さま、有り難うございました。 ◇

松桜会講座のお知らせ(令和8年度下期)

9/11(金) 締切(必着)

対象者: 駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員 他

申込方法: 往復はがきに、次の内容を記入してください。

①講座名 ②郵便番号・住所 ③携帯及び固定電話番号 ④氏名

⑤会員—卒業回 教職員—所属 PTA会員—お子様の氏名・学年・ホーム

☆返信はがきに宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき1枚でお申し込みください。

申込先: 〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 (一財) 駒場松桜会事務局

☆申込後のキャンセルは、開講日の2週間前からは受講料をいただきますことをご了承ください。

講座

企画

講座部会

進化し続ける街の今昔: 品川港南・田町高輪ゲートウェイ・お台場エリアを歩く

1. 品川駅から: 住宅街地域とは異なる東京港湾地域。東京海洋大学・清掃工場・生コン工場・流通基地そして「東京出入国在留管理局」。潮の香りを感じながら二本の橋を渡り、レインボーブリッジを眺める。
2. 田町駅から: ビジネスマンが行き交う駅頭を後にして、三田の尾根筋に上ると縄文時代や江戸時代の遺跡が。泉岳寺で義士にご挨拶、フィナーレは最新の国際交流拠点である高輪ゲートウェイで鉄道の歴史を堪能。
3. お台場海浜公園駅から: ここは「東京港第13号地」公式愛称「レインボータウン」港区・江東区・品川区が隣接する地域。「江戸防衛のお台場」、「海辺に立つ自由の女神」、「レインボーブリッジ」等々。

10/17(土)
11/21(土)
12/19(土)

10:00 駅出発
12:00 解散予定

諸般の事情により、日程の変更や中止になる場合もありますので、ご了承ください。

定員: 30名
受講料: 2,000円
(含 資料代、保険料)

※お申込み多数の場合、抽選等の方法で参加者数を制限させていただくことがあります。ご承知おください。なお初回に欠席ご予約の方は出来るだけお申込みをご遠慮ください。

「コチロンを踊る会」を 楽しく開催しています

日時: 第三月曜日 10:45 ~ 12:15 場所: 母校生徒ホール 無料

現在、駒7から駒33の方々がとても楽しく和気あいあいと参加されています。8人で1組の美しいスクエアダンスです。初心者も大歓迎！講座と同様に奮ってお申し込みください。

参加者の声

「JR京浜東北線の駅から歩く路地めぐり」に参加して

松桜会B講座「駅から歩く路地めぐり」に参加させて頂き有難うございます。この企画を立案され、資料作り・引率実行されるスタッフの皆様感謝申し上げます。私が参加できたウォークは亀戸、浅草橋、両国、大森、蒲田、中野、阿佐ヶ谷、高円寺の各駅でした。これらの駅を起点に、その街の現在の姿や歴史伝統を歩きながら学ぶ事ができました。今回は東十条駅(5/16)と赤羽駅(6/20)です。この地域は地図を見ると多摩丘陵の連なる東端で、四本の滝が落ちる程、崖に高低差がある名主の滝公園、ビックリです。王子駅迄の道に昔は茶屋が並んでいたらしい。その名残が「石鍋久寿餅店」ですね。崖地の西側台地には自衛隊駐屯地がありました。赤羽駅からウォークは東側低地を流れる河川散策。荒川から分かれる隅田川の入口にある岩淵水門と知水資料館見学。小雨もあり、水辺の風情を味わえた散策でした。

こうして駅からウォークに参加して①知らない東京の今と昔を知る機会を②健康生活に必要な健脚を鍛える機会を③同級生と再会する機会を得られて本当に感謝しております。秋は何処を巡るのか今から楽しみです。

檜山 和之(旧姓 大槻)(駒14)

「人口高齢化と社会変化—超高齢化社会に生きる」を受講して

「高齢化社会が世界で最も日本で進んでいる」事実を、データで裏付けていました。世界の国々がいざれ直面する難題です。我々が上手に取り組めば他国の参考になりますね。「日本の年金制度・公的医療保険制度・介護保険制度は国民の期待を全て満たすには不十分ですが、うまく機能している」と説明されました。米国等での染谷徹子講師の体験や知見を踏まえたご意見です。年金生活、叔母の成年後見人や介護を経験した私も同感です。

親や先輩世代が敗戦で無に帰した社会基盤を復興させた成果です。民主主義を発展させた国民夫々が企業活動、行政、政治を上手に組織し運営しました。最近、目にするGPIIは、現役世代が年金受益者となる将来の原資不足を補う仕組みです。すでに運用益を確保しています。次世代の受益者への原資を巧みに作っています。当初から運用先を海外の株式や債券に拡大しました。為替差損を心配する批判が過去にありました。しかし運用結果が「判断が正しかった」と証明しています。「自助努力に加えて利他の仕組の組合わせが居心地が良い社会を作る」と考えます。

この講座を受講して「社会のシステム」を考えることになりました。ありがとうございました。

大根田 厚(駒17)

令和7年度事業報告

令和8年3月31日

一般財団法人東京都立駒場高等学校同窓会・駒場松桜会

1. 松桜会会報発行(第4条-1)
年2回 4月(115号) 9月(116号)
発行部数 4月号18,500部 9月号18,200部
2. 総会(第4条-2)
『駒場松桜会同窓の集い』開催
2025年6月28日 主婦会館プラザエフにて
参加費5,000円(新入会員駒77回生は無料) 参加者 63名
3. 助成金(第4条-4) 都立駒場高等学校へ
生徒会へ贈呈
全国大会出場の一部活動を支援
海外短期語学研修費用を支援
4. 松桜会講座開催(第4条-3)
上期講座(令和7年4月～9月)
A講座:「楽しいコチロン」全5回
5月10日(土)24日(土) 6月7日(土)21日(土)
7月5日(土) 母校生徒ホールにて
講師:伊藤美佐子(駒12) 志村文子(駒24)
受講者18名 受講料無料
B講座: JR中央・総武線の駅から歩く路地めぐり 全3回
5月17日(土)「東中野駅」
5月31日(土)「中野駅」
6月14日(土)「高円寺駅」
講座部企画 受講者 51名 受講料2,000円
下期講座(令和7年10月～令和8年3月)
A講座:「心の在り方～身体からのアプローチ～」全3回
10月25日(土)「身体心理学」
11月22日(土)「心と体の関係性」
1月17日(土)「日常の過ごし方への視点」
講師:石井康智(駒17) 早稲田大学文学部名誉教授
生理心理学・健康心理学・身体心理学分野。
受講者17名 受講料1,500円
B講座: JR中央・総武線の駅から歩く路地めぐり 全2回
10月18日(土)「阿佐ヶ谷駅」
11月15日(土)「荻窪駅」
講座部企画 受講者75名 受講料1,500円
5. 松桜会コンサート(第4条-2)
令和7年11月29日(土) 開演14時
東京オペラシティ リサイタルホールにて
神野優子ヴァイオリンコンサート
出演者:神野優子(駒17) 東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。
ゲスト出演者:宮林陽子(ヴァイオリン) 平田侑(ピアノ)
入場料:3,000円 来場者:125名
6. 美術展・都駒祭参加(第4条-2)
9月6日(土)・7日(日)来場者:703名
仰光寮1階を公開し、来場者に建物の由来などを説明した。
7. コチロンを踊る会(第4条-3)
練習会開催 月1回月曜日 11時～12時半
母校生徒ホールにて
8. ホームページ(第4条-5)
逐次アップデートしている。

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

単位:円

科 目	公益実施事業会計		小計	同窓会事業会計 事業費	法人会計	合 計
	継続事業1	継続事業2				
一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
事業収益						
音楽会	314,000		314,000			314,000
講座	240,000		240,000			240,000
同窓会年会費				2,588,400	287,600	2,876,000
同窓会入会金				1,550,000		1,550,000
集いの会				340,000		340,000
その他				16,002,200		16,002,200
受取利息					65,748	65,748
経常収益計	554,000		554,000	20,480,600	353,348	21,387,948
(2) 経常費用						
事業費						
音楽会経費	549,564		549,564			549,564
講座経費	217,888		217,888			217,888
美術展経費	5,168		5,168			5,168
コチロン経費	22,580		22,580			22,580
助成金(高校)		1,299,300	1,299,300			1,299,300
H P維持費	83,600		83,600	41,800		125,400
集いの会経費				428,828		428,828
会報発行費	280,005		280,005	840,015		1,120,020
会報発送費	822,447		822,447	2,467,340		3,289,787
名簿維持費				131,895		131,895
組織維持費				0	122,250	122,250
諸手当	194,320	13,880	208,200	416,400		624,600
消耗品費	228,785	16,343	245,128	490,253		735,381
通信費	45,661	3,262	48,923	97,846		146,769
交通費	88,906	4,679	93,585	74,868		168,453
水道光熱費	6,393	457	6,850	13,700		20,550
交際費	6,507	465	6,972	13,944		20,916
支払手数料	16,720	984	17,704	17,703		35,407
管理費						
諸手当					69,400	69,400
会議費					78,505	78,505
消耗品費					81,708	81,708
通信費					16,307	16,307
交通費					18,717	18,717
水道光熱費					2,283	2,283
交際費					2,324	2,324
支払手数料					3,934	3,934
経常費用計	2,568,544	1,339,370	3,907,914	5,034,592	395,428	9,337,934
当期経常増減額	▲ 2,014,544	▲ 1,339,370	▲ 3,353,914	15,446,008	▲ 42,080	12,050,014
当期一般正味財産増減額			▲ 3,353,914	15,446,008	▲ 42,080	12,050,014
一般正味財産額期首残高			19,912,965	25,674,750	533,750	46,121,465
一般正味財産額期末残高			16,559,051	41,120,758	491,670	58,171,479
正味財産期末残高			16,559,051	41,120,758	491,670	58,171,479

令和8年5月7日 山根勉・三好達雄監事により監査、承認をうけました。

令和7年度損益計算書

一般財団法人東京都立駒場高等学校同窓会・駒場松桜会

2026年 駒場高校卒 大学等合格状況

3
1
2
6
42
3
1
2
52
3
1
8
7
3
37
32
1
59
5
3
41
50
役
1
1
役
1

[illegible]